

令和6年度
玉城町社会福祉協議会
事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営	
(1) 法人運営の経営体制の強化	3
(2) 会員制度等の推進	7
(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知	7
(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み	7
(5) 各種関係機関・団体との連携強化	8
2. 地域福祉事業の推進	
(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）	10
(2) 積極的に社会参加できる環境づくり（福祉育成・援助活動事業）	12
(3) ボランティア活動と福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）	15
(4) 障がい者の自立と社会参加の促進（障がい児・者福祉活動事業）	19
3. 相談・援助事業の推進	
(1) 福祉相談機能の充実強化	19
(2) 低所得者世帯の生活安定事業	20
(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業	20
4. 受託事業の運営	
(1) バス事業（研修バス・福祉バス・元気バス・すまいるバス）	21
(2) 各種福祉団体事業の運営	22
(3) ICTふるさと元気事業の運営	22
(4) 高齢者等交通安全対策事業	23
(5) 生活支援コーディネーター事業	23
(6) 災害ボランティアセンター事業	23
(7) 玉城町生活困窮者自立相談支援事業	23
(8) 個別避難計画受託事業	24
5. 募金活動の推進	
(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動	24
(2) 共同募金と歳末助け合い活動	24
(3) 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト	24
(4) 災害義援への協力及び活動	24
6. 在宅福祉事業の運営	
(1) 介護保険事業の推進と実績	25
(2) 障害者支援事業の取り組みと実績	25
(3) 移送サービス支援事業	26
7. 地域住民からのニーズ事業実施	
(1) シルバー人材センター事業	26

令和6年度の事業報告

理念：笑顔広がる 人づくり 地域づくり
つながりづくり の実現に向けて

令和6年度、玉城町社会福祉協議会は「笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり」の基本理念に基づき、多岐にわたる事業を推進しました。

ポストコロナとなり生活様式の変容や多様性の時代と言われる中で、本会は法人化40周年を迎えることとなり、人づくりにおいては、福祉教育（共育）を通じて地域福祉を担う人材育成に注力。地域づくりでは、サロン事業や楽笑会、生活支援コーディネーターとして各地域に出向き地域住民の交流の場を設け、高齢者や子どもの社会参加を促進。また、つながりづくりとして、民生委員児童委員協議会をはじめとする各種団体との連携強化、元気バス運行による移動支援など、地域における多様な主体との連携を深めてまいりました。

特に、法人運営においては、健全な経営体制の強化と役割・活動の周知に努め、生活困窮者への相談支援や、障がい者の自立と社会参加の促進にも取り組むため、社会福祉士の職員配置。また、町と協働で新たな地域福祉計画等のプレ計画策定にも着手し、地域共生社会の実現に向けた取り組みとして第4期「地域ふくし力向上計画」を改訂し、今後5か年にわたり推進してまいります。

本会は、地域福祉を推進する中核的な組織として地域住民の主体的な関りと、介護・障がい者支援事業においてもニーズに合った支援サービスを心がけ、皆様から信頼される社会福祉法人を目指してまいります。

1. 法人運営

(1) 法人運営の経営体制の強化

①理事会

	開催日	議 題	
第1回 理事8名 監事2名	5月23日	議案第1号	令和5年度玉城町社会福祉協議会事業報告の承認について
		議案第2号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第3号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第4号	令和5年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の承認について
		議案第5号	評議員の解任及び評議員選任候補者の推薦について
		議案第6号	第1回評議員選任・解任委員会の開催について
		議案第7号	第1回評議員会の開催について
第2回 理事7名 監事2名	11月26日	報告第1号	専決処分について（正規職員給与規定の一部改正について）
		報告第2号	専決処分について（臨時職員給与規定の一部改正について）
		報告第3号	令和6年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について
		報告第4号	令和6年度玉城町社会福祉協議会収支状況中間報告について
		議案第8号	定款の一部改正（案）について
		議案第9号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について

		議案第10号	第三者委員の選任について
		議案第11号	評議員の解任及び評議員選任候補者の推薦について
		議案第12号	令和6年度第2回評議員選任・解任委員会の開催（案）について
		議案第13号	令和6年度第2回評議員会の開催（案）について
第3回 理事7名 監事2名	3月21日	議案第14号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正（案）について
		議案第15号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第2号）（案）について
		議案第16号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第17号	令和6年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第18号	令和7年度玉城町社会福祉協議会事業計画（案）について
		議案第19号	令和7年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第20号	令和7年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第21号	令和7年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算（案）について
		議案第22号	令和6年度第3回評議員会の開催（案）について

②評議員会

	開催日	議 題	
第1回 評議員12名 理事1名	6月21日	議案第1号	令和5年度玉城町社会福祉協議会事業報告の承認について
		議案第2号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第3号	令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の承認について
		議案第4号	令和5年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の承認について
第2回 評議員10名 理事1名	12月20日	報告第1号	専決処分について（正規職員給与規定の一部改正について）
		報告第2号	専決処分について（臨時職員給与規定の一部改正について）
		報告第3号	令和6年度玉城町社会福祉協議会事業中間報告について
		報告第4号	令和6年度玉城町社会福祉協議会収支状況中間報告について
		報告第5号	評議員の選任について
		議案第5号	定款の一部改正（案）について
第3回 評議員15名 理事1名	3月27日	議案第6号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第7号	玉城町シルバー人材センター運営に関する規程の一部改正（案）について
		議案第8号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計補正予算（第2号）（案）について
		議案第9号	令和6年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について

		議案第10号	令和6年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計補正予算（第1号）（案）について
		議案第11号	令和7年度玉城町社会福祉協議会事業計画（案）について
		議案第12号	令和7年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第13号	令和7年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計予算（案）について
		議案第14号	令和7年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計予算（案）について

③監事会

	開催日	議 題
第1回 監事2名	5月14日	・ 令和5年度玉城町社会福祉協議会事業報告について ・ 令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分社会福祉拠点区分会計決算の監査について ・ 令和5年度玉城町社会福祉協議会社会福祉事業区分障がい福祉拠点区分会計決算の監査について ・ 令和5年度玉城町社会福祉協議会公益事業区分公益拠点区分会計決算の監査について
第2回 監事2名	11月8日	・ 令和6年度玉城町社会福祉協議会中間監査について

④評議員選任解任委員会

第1回 委員5名	6月4日	議案第1号 評議員の解任・選任について
-------------	------	---------------------

⑤主任会議 毎月1回開催

健全な経営基盤を確立し、住民に効果的・効率的なサービスを提供するため、主任以上の職員を対象に開催。財務、人事、事業に関してさまざまな検討を行いました。また、主任会議の前に必要に応じて局長、次長、係長（2名）による「定例会議」を開催し、具体的な戦略や方向性を定めていくよう努めています。

	開催日	議 題
第1回	4月11日	・ 理事会・評議員会報告について ・ 事業シートの作成について ・ 令和5年度決算資料作成のお願い ・ 職員健康診断について ・ 介護職員等処遇改善手当について ・ ゴールデンウィークの営業について ・ 機密文章破棄について ・ 日赤募金について ・ 令和6年能登半島地震災害による輪島市社協への支援派遣について
第2回	5月9日	・ 社協決算監査について ・ 令和6年度社協会費（職員対象）のお願い ・ 夏季における職員の健康管理について ・ 元気ですたまきまつりについて ・ 令和5年度研修会・会議出席状況表入力について ・ 各研修会等について ・ 介護職員等処遇改善手当について

第3回	6月13日	・ 社協法人設立40周年記念事業について ・ 元気ですたまきまつりの報告について ・ 一時金（賞与）について ・ 会館出口の一旦停止について ・ 社協会員の団体へのご協力について
第4回	7月11日	・ 職員健康診断結果について ・ 制服支給について ・ 更新に向けての面談について
第5回	8月8日	・ 体調管理について ・ 人事について ・ 社協職員としての行動について
第6回	9月12日	・ 赤い羽根共同募金について ・ 健康診断結果について（再度通知） ・ 社協会費増強運動について ・ 人事について ・ 最低賃金改正について
第7回	10月10日	・ インフルエンザ予防接種について ・ 年末調整について ・ 人事について ・ 多気郡度会郡内社協 合同災害支援活動(輪島市)について
第8回	11月11日	・ 社協定期監査結果報告について ・ 法人40周年記念事業第一弾について ・ 年末年始休業について ・ 令和6年度事業シート中間評価について ・ 12月賞与について ・ 11月19日14：00～館内合同避難訓練について ・ BCP(自然災害)訓練について
第9回	12月12日	・ 仕事終わり式、仕事始め式について ・ 職員辞令交付(定昇) ・ 人事について ・ 令和6年度第23回『玉城町社会福祉大会』について ・ 令和7年度『元気ですたまきまつり』 ・ BCP感染症の訓練について
第10回	1月9日	・ 第23回玉城町社会福祉大会について ・ インフルエンザ予防接種助成金について ・ 臨時、パート面談について
第11回	2月13日	・ 職員面談結果について ・ 今後の理事会、評議員会について ・ 人事について ・ 資格更新研修費の支給について ・ ジョイワークについて
第12回	3月13日	・ 理事会、評議員会の日時等について ・ 人事について ・ 元気ですたまきまつりについて ・ 令和6年度自己評価について ・ 令和6年度事業所シートについて ・ 令和7年度介護職員処遇改善手当の支給について

⑥身体拘束等適正化委員会

第1回	5月9日	・通所介護利用者の身体拘束（つなぎ着用）について
第2回	8月8日	・通所介護利用者の身体拘束についての経過報告
第3回	11月11日	・生活介護利用者の車いすのブレーキについて、通所介護利用者の身体拘束（つなぎ着用）について
第4回	2月13日	・通所介護利用者の身体拘束についての経過報告、意見交換

⑦感染症対策委員会

第1回	6月13日	・感染症の予防及び蔓延防止に関する研修、意見交換
第2回	9月12日	・食中毒等についての研修、意見交換
第3回	12月12日	・一般的な各感染症の症状・感染経路・予防法の研修、意見交換
第4回	3月13日	・介護施設における肝炎対策研修、意見交換

⑧虐待防止委員会

第1回	11月11日	・「セルフ・ネグレクト」への支援を考える、委員意見交換
-----	--------	-----------------------------

(2) 会員制度等の推進

①社会福祉協議会会員の加入促進及び地域福祉活動費への協力 (単位：円)

年度 会員区分		R 4		R 5		R 6	
		会員口数	会 費	会員口数	会 費		会 費
個人会員	300 円/口	2,003 口	609,700 円	2,144 口	655,200 円	2,199 口	665,000 円
団体会員	5,000 円/口	45 口	225,000 円	48 口	240,000 円	52 口	265,000 円
賛助会員	10,000 円/口	7 口	70,000 円	9 口	90,000 円	9 口	90,000 円
計		2,055 口	904,700 円	2,201 口	985,200 円	2,260 口	1,020,000 円

※端数金額が含まれているため口数と金額が相違します。

②寄附金 (単位：円)

年 度	R 4	R 5	R 6
金 額	1,031,037	653,053	809,690

(3) 社会福祉協議会の役割や活動周知

地域福祉の中核的な機関として行政との連携の元、ともに住民にサービスを提供し、さらに行政には出来ないインフォーマルな立場で住民等との関わりを補完的に担っています。

また、本年は行政との連携で地域福祉計画・同活動計画の策定に向けた取り組みを始めました。また、あわせて社会福祉法の改正を受けて任意事業とされる重層的支援体制整備事業にも協力し県内先進地（鳥羽市、御浜町）への訪問も行いました。

①普及宣伝

- ・広報「たまき社協だより」発行
年4回予定（今年度発行：5月No.90 8月No.91 11月No.92 2月No.93）
各4,900部 町広報に挟み込み。
- ・ホームページの活用
- ・YouTubeの活用 7本 公開済み
- ・ブログ・フェイスブックの活用
- ・防災無線での呼びかけ

(4) 役員・職員等の資質向上研修の取り組み

地域福祉サービスの充実や職員教育の一環として、事業別・業種別の研修も従来の対面型に戻る中で、引き続きオンラインによる有効的な機会を捉え受講しています。また、他の市町社協との交流も兼ね川越町社協へ研修訪問しました。

(5) 各種関係機関・団体との連携強化

各関係団体との連携、ネットワーク構築は、地域福祉の推進者として社会福祉法に位置づけられた社協にとって中心的な活動といえます。

福祉5団体活動は独自の活動においても、町及び教育委員会等と連携の元、積極的に事業に参加、協力、支援を行い、他市町との連携もうまく取れています。

このほか、オンラインによるものも継続して行われ効率的に行われています。

① 民生委員児童委員協議会活動

令和4年12月1日改選。民生委員・児童委員33名のところ32名（1名欠員）、主任児童委員2名で運用しています。

・ 役員会（毎月最終水曜日）

定例会事項検討を中心に、重要事項の事前協議を行う。

	開催日	内 容
第1回	4月24日 9名	「春の田丸城跡クリーン作戦」のご協力について 元気ですたまきまつりについて
第2回	5月29日 10名	社会福祉協議会の会費について 活動費のお支払いについて 元気ですたまきまつりの報告について
第3回	6月26日 10名	元気ですたまきまつりの報告について 民生委員・児童委員による金銭の取り扱いに関する基本的な考え方について
第4回	7月31日 9名	ビュアタウン蚊野・蚊野茶屋地区新任民生委員決定について 敬老祝い金について
第5回	8月28日 8名	敬老祝い金について 赤い羽根共同募金 街頭募金について 「秋の田丸城跡クリーン作戦」について
第6回	9月25日 9名	赤い羽根共同募金 街頭募金の報告について 「秋の田丸城跡クリーン作戦」について 歳末まごころ訪問について 研修視察について
第7回	10月30日 9名	認知症高齢者等SOSネットワーク「見守りたまき」登録制度について 「歳末まごころ訪問」について 活動費の支払いについて
第8回	11月27日 8名	活動費の支給について 「歳末まごころ訪問」について 第93回全国民生委員児童委員大会
第9回	12月25日 10名	令和6年度 玉城町社会福祉大会及びたまき人大集合について 令和6年度 三重県民生委員・児童委員研修会について
第10回	1月29日 9名	民生委員児童委員改選に向けて
第11回	2月26日 8名	令和7年度事業計画（案）について
第12回	3月26日 9名	民生委員児童委員の日について（5月12日～18日） 元気ですたまきまつりについて

・ 定例会（毎月第1水曜日）

各委員が交代で事例発表や意見交換をはじめ、専門部会、地区部会なども行い、情報交換の場となる。

	開催日	内 容
第1回	4月17日 33名	民生委員児童委員の日について（5月12日～18日）
第2回	5月15日 31名	玉城町避難行動支援者制度について 「春の田丸城跡クリーン作戦」のご協力について 元気ですたまきまつりについて

第3回	6月5日 32名	社会福祉協議会の会費について 活動費のお支払いについて 元気ですたまきまつりの報告について
第4回	7月3日 31名	民生委員・児童委員による金銭の取り扱いに関する基本的な考 え方について 他
第5回	8月7日 31名	ピュアタウン蚊野・蚊野茶屋地区新任民生委員決定について 敬老祝い金について
第6回	9月4日 32名	敬老祝い金について 赤い羽根共同募金 街頭募金について 「秋の田丸城跡クリーン作戦」について
第7回	10月2日 31名	赤い羽根共同募金 街頭募金の報告について 「歳末まごころ訪問」について 研修視察について
第8回	11月6日 31名	認知症高齢者等SOSネットワーク「見守りたまき」登録制度について 「歳末まごころ訪問」について 活動費の支払いについて
第9回	12月4日 30名	活動費の支給について 「歳末まごころ訪問」について 第93回全国民生委員児童委員大会の報告
第10回	1月22日 31名	令和6年度 玉城町社会福祉大会及びたまき人大集合について 令和6年度 三重県民生委員・児童委員研修会について
第11回	2月5日 31名	民生委員児童委員改選に向けて 第1回元気ですたまきまつり実行委員会の報告
第12回	3月5日 30名	令和7年度事業計画（案）について

- ・毎月、定例会の中で部会ミーティング（高齢者・身障・児童部会）を開催
- ・なんでも相談 毎月10・30日 の相談員として担当
- ・下校時安全パトロール 各学校区ごとに毎月1回以上実施
- ・毎月第3火曜日に社協職員、あいさつ人と共に町内小中学校であいさつ運動に参加する。
- ・独居見守り活動として、絵手紙を希望する独居老人に対し、絵手紙を持参し訪問・安否・見守りを行う。

・ 総会・研修会等

開催日	研修名	参加者数
4月19日	令和6年度玉城町民生委員児童委員協議会総会	32名
7月2日～3日	令和6年度 三重県単位民生委員児童委員協議会会長研修	1名
9月25日	令和6年度 三重県主任児童委員研修会	2名
11月20～21日	全国民生委員児童委員大会（宮崎県）	1名
1月22日	磯部地区民生委員児童委員協議会との交流会	31名

② 福祉団体活動

（単位：人、円）

団体名	会員数	主な事業	町補助金
玉城町老人クラブ連合会	1,355	5月 町老人クラブ役員会 6月 町老人クラブ理事会 11月 町老人クラブ理事会 12月 郡グランドゴルフ大会 3月 町老人クラブ役員会	1,000,000
玉城町障がい者福祉会	25	5月 町身体障害者福祉会役員会 9月 町カラオケ交流会 12月 町身体障害者福祉会役員会 2月 町身体障害者福祉会交流会	0
玉城町遺族会	218	4月 町遺族会役員会 5月 町遺族会理事会 10月 三重県護国神社秋季例祭 10月 玉城町戦没者追悼式 2月 下外城田地区役員会	350,000

玉城町母子寡婦福祉会	23	4月 さくらまつり出店 5月 理事会 5月 総会 6月 元気ですたまきまつり（出店） 6月 県市町会長会議（第1回） 7月 三重県母子寡婦福祉連合会指導者研修会 9月 研修・交流事業（なかよし研修会） 10月 県市町会長会議（第2回） 10月 町民体育祭出店 11月 三重県母子寡婦福祉大会 11月 ミカン狩り（27名参加） 12月 クリスマス会（記念品配布） 1月 県市町会長会議（第3回） 3月 いちご狩り（32名参加） 3月 県市町会長会議（第4回）	130,000
玉城町手をつなぐ親の会	14	5月 地域ケア会議 6月 地域ケア会議 6月 役員会・総会 6月 玉城町社会福祉協議会評議員会 6月 ちよっとネット会議・茶話会 7月 役員会 7月 福祉避難所訓練 8月 しごと部会 9月 自立支援協議会本会 10月 福祉の杜まつり参加 10月 施設見学会（伊勢市 慎） 10月 役員会 11月 役員会 12月 ちよっとネット会議・茶話会 1月 地域障がい者スポーツ教室 2月 いちご狩り 3月 ちよっとネット会議・茶話会 ※暮らし部会に参加	40,000
合計			1,520,000

③ 町や事業所間の連携

- ・ 防災意識の向上・醸成にボランティアが連携協力
- ・ 生活困窮者支援体制強化のため、町及び県社会福祉協議会と連携協力
- ・ 学校、各種団体等からの研修派遣要請に協力

2. 地域福祉事業の推進

共同募金配分金を財源に活用した様々な事業です。

(1) 身近な地域で福祉サービスを楽しむ地域づくり（老人福祉活動事業）

人と人とのつながりに基づく地域生活に着目し、すべての地域住民一人ひとりの自立した生活が可能となるよう、個別の援助とそれに連動した地域の福祉活動に対する支援を積極的に行う事業です。

① サロン事業の支援と推進

地域の方々がボランティアスタッフになり、閉じこもりになりがちな高齢者の気軽な集いの場を設置。地域の支え合いにより介護予防や災害時などの支援にもつながる事業といえます。

○ いきいきサロン栄町（毎月第4月曜日：栄町公民館）（H17.2開始）（単位：人）

年度	R 4	R 5	R 6
平均人数	0	22	16

※新型コロナウイルスの影響により、活動中止していましたが、R6.3月より再会

- 万年青の会(毎週月曜日：下田辺公民館) (H21.2開始) 中国健康体操
(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
平均人数	9	10	10

- 勝田町いきいきサロン(毎月第2水曜日：勝田町公民館) (H21.9開始)
(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
平均人数	0	15	14

※新型コロナウイルスの影響によりR4は中止。R 5. 6月より再開。

- 富岡おしゃべりサロン(毎月15日：富岡公民館) (R6.4開始)
(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
平均人数	-	-	10

- 殿友会(毎月第3日曜日：若狭屋店舗跡) (R6.6開始) (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
平均人数	-	-	7

- おふろサロン(毎週月・水・金曜日開催)
参加料：1回150円、回数券(8枚綴)1,000円 (H22.4開始)
(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
登録人数	7	7	6
利用人数	6	5	6
利用延べ人数	391	305	381

② ほのぼの便(安否確認)

ボランティア(ゆずりは会)により毎月絵手紙を作成。民生児童委員と連携し毎月独居高齢者へ配達し、安否見守り活動に効果を上げています。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
平均利用人数	100	88	77

③ 歳末援護事業(歳末まごころ訪問事業)

75歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ、12月30日に民生委員のご協力のもと安否確認を予定しています。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	182	184	198

④ 給食サービス

概ね65歳以上の一人暮らしの方を対象に希望者へ毎月第1・3日曜日に昼食を届けています。ボランティア虹の会がふれあい型の活動として運営。事業費は共同募金が原資のため無料で提供していましたが、平成24年度から利用料(1回200円)を徴収、これを地域福祉費から充当しています。

(令和4年度9月から年齢65歳に改正)

7月～8月は食中毒予防のため、9月の第1日曜日は台風のため虹の会の活動が自粛となりましたが、業者に委託し切れ目なく支援を継続しています。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
回数	23	23	23
平均配達人数	29	31	30
延べ人数(配食数)	656	718	712

⑤ 配食サービス

平成30年4月から、町から受託。概ね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯等へ、毎月第2・4・5日曜日に昼食を届けています。配食は業者委託で、利用料は1回200円です。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
回数	28	29	28
平均配達人数	29	26	26
延べ人数(配食数)	810	756	746

⑥ 楽笑会(らくしょうかい)

平成24年度から地域型のおたのしみ会として、閉じこもりがちな高齢者の地域参加の場を学区単位で行い、地域の世代を超えた交流によってコミュニケーションを図っています。

日時：1月30日(木) 13:45～15:00

場所：有田小学校 体育館

参加者：有田地区75歳以上独居高齢者13名、元気ですたまき委員会1名、民生委員7名、虹の会3名、有田小学校4年生29名

内容：グループにわかれてのゲーム(トランプや輪投げなど)

校歌斉唱

⑦ 備えトコ

平成25年度からの継続事業で、災害予防対策として災害弱者である75歳以上の一人暮らしの方を対象に防災啓発グッズを配布し、災害に対する自助的意識の向上を目的としています。3年に一度見直しを行い、民生児童委員に配布を依頼しています。

年度	R 4	R 5	R 6
配布人数	民協改選の為、中止	内容再検討	内容再検討

(2) 積極的に社会参加できる環境づくり(福祉育成・援助活動事業)

地域のすべての住民を対象に、社会福祉への理解と関心を高め、社会参加、社会連帯の精神を養うとともに、地域内における福祉教育の実践及び学習を通じ、地域の福祉力向上を目指す事業です。

① 元気ですたまき事業

・委員会の運営

平成20年に発足以来、令和2年度から第3期目スタート。任期5年。現在委員9人。アドバイザーに市民福祉教育研究所 主宰 田村禎章氏を置いています。第3期地域ふくし力向上計画を中心に、住民課題を住民目線で共に考え解決に導いています。

	開催日	内 容
第1回	4月24日 6名	活動報告について(フリースペース活用・桜まつり) 元気ですたまきまつりについて 今年度計画について
第2回	5月29日 7名	元気ですたまき体操について 元気ですたまきまつりについて たまき人大集合について 地域ふくし力向上計画について
第3回	6月26日 10名	活動報告について(元気ですたまきまつり) 福祉の標語(テーマ決めについて) たまき人大集合について 地域福祉座談会について 地域ふくし力向上計画について

第4回	7月31日 5名	福祉の標語について 社協40周年事業について 玉城町社会福祉大会について 今後の活動について（RUN伴たまき・地域福祉座談会） 地域ふくし力向上計画について
第5回	8月28日 10名	活動報告について（真夏の夜の祭典について） たまき人小集合について 今後の活動について（RUN伴たまき・ふれあいウォーキング） 健康づくり講演会&つながるコンサートについて 地域ふくし力向上計画について
第6回	9月25日 7名	活動報告について（たまき人小集合） RUN伴たまきについて ふれあいウォーキングについて 地域福祉座談会について 健康づくり講演会&つながるコンサートについて 地域ふくし力向上計画について
第7回	10月30日 7名	RUN伴たまきについて ふれあいウォーキングについて 地域福祉座談会について あつまれたまき人中集合について 健康づくり講演会&つながるコンサートについて 地域ふくし力向上計画について
第8回	11月27日 7名	福祉の標語について 地域福祉座談会について あつまれたまき人中集合について 健康づくり講演会&つながるコンサートについて 地域ふくし力向上計画について
第9回	12月20日 6名	福祉の標語について 地域福祉座談会について あつまれたまき人中集合について 健康づくり講演会&つながるコンサートについて 楽笑会in有田小学校について 第23回 玉城町社会福祉大会について あつまれたまき人大集合について 地域ふくし力向上計画について 元気ですたまき委員会規定について
第10回	1月29日 6名	楽笑会in有田小学校について 第23回 玉城町社会福祉大会について あつまれたまき人大集合について 地域ふくし力向上計画について
第11回	2月26日 7名	楽笑会in有田小学校について 第23回 玉城町社会福祉大会について あつまれたまき人大集合について 地域ふくし力向上計画について
第12回	3月19日 7名	めいりん村音楽会 春のコンサートについて 今年度振り返りおよび来年度計画について あいさつ運動について 元気ですたまきまつりについて 地域ふくし力向上計画について

- ・あいさつ運動(明るく声かけ玉城の日)
平成22年1月から毎月第3火曜日の早朝、田丸駅、小中学校、保育所等であいさつ運動を展開し住民同士の絆づくりの一助となっています。
活動は、委員はじめあいさつ人、民生児童委員、社協職員など。引き続き、田丸駅では、青少年を育てる会の啓発活動も毎月一緒に行い、町内障害者施設の職員・利用者や一般の方も場所によっては、参加いただいています。
将来的な福祉教育の視点から、子どもたちへの働きかけは継続的に行っていきたいと考えています。
※6月18日 大雨の為、中止。 8月20日 高温等を考慮し中止。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
参加人数	330 (10回)	414 (11回)	346 (10回)

- ・あつまれたまき人（ワークショップ開催）
自分にできること、みんなと一緒にできることを見つけ、「たまき人」として具体的な行動につなげていくきっかけとするためにワークショップを開催しました。

(小集合)

日時：令和6年9月5日(木) 10:00～13:30

場所：さんておーる食堂

参加者：ボランティア団体他 33名

内容：元気ですたまき委員会の活動紹介、
グループワーク（今できていること、力を入れていること、
困っていること）、たまき人バンド演奏

(中集合)

日時：令和6年11月30日(土) 9:00～11:00

場所：保健福祉会館 集団検診室、健康相談室

参加者：ボランティア団体、60歳以上の地域住民（男女）、
子育て世代他 34名

内容：グループワーク（小さなしあわせ、自分たちは何をしたいか、
実現するためにどうしたらよいか、実現できたらどうなるか）

中集合のみ玉城町役場 保健福祉課 地域共生室が主催となっています。

(大集合)

日時：令和7年2月11日(火・祝) 13:30～15:00

場所：保健福祉会館 ふれあいホール

参加者：ボランティア団体、60歳以上の地域住民（男女）、
子育て世代、地域ケア会議のメンバー他 45名

内容：グループワーク（この人とつながれたと思った話、
仲良くなるきっかけ、自分が参加したいと思う活動は何か）

- ・第17回 元気ですたまきまつりの開催

日時：6月2日(日) 10:00～14:00

場所：玉城町保健福祉会館

参加者：1,000人

テーマ：あつまれ元気なたまき人

内容： 広く住民の方に福祉の啓発、また地域活動の交流の場として開催。
団体44、スタッフ250人参加。雨の影響にてレイアウト等の変更があり屋内が狭くなってしまい、不便をお掛けしましたが福祉の祭典も無事終了しました。

オープニングの「元気ですたまき体操」では特別のゲストが参加し、祭りにふさわしい盛り上がり、オープニングになりました。

今後も福祉の啓発に努めて、住民の方々が参加しやすい、より良い福祉のイベントになるように努めていきます。

- ・元気ですたまき推進事業（オリジナル体操）

元気ですたまきのオリジナル体操は、町のイメージソングと共に平成18年度に誕生。体操として、保育所、学校で活用されるようになっており、一般には桜まつ

り、アスピア玉城まつり、町民体育祭、民生児童委員活動など幅広く使われています。さらに、サロン活動や健康しあわせ委員の活動において健康づくりとして、地域の活動に取り入れられ、定着しています。

さらに、YouTubeを活用し、自宅でもできる健康体操として、動画を公開し推進しています。

・「福祉の標語」募集

昨年度は“笑顔”をテーマに募集しました。今年度は”やさしい気持ち・思いやり”をテーマに募集しました。健康しあわせ委員会、青少年を育てる会と協働で選考し、優秀作品の表彰を玉城町社会福祉大会で行いました。

② 地域福祉活動計画の策定と運用

地域福祉計画の活動計画の一部に位置付けた「地域ふくし力向上計画」も第3期目となり、令和2年度から6年までの5か年計画として策定し運営しています。

令和6年度は前述のワークショップで意見交換も行い第4期計画を策定しました。

③ 福祉用具等貸出事業

車いす等福祉用具に関わる貸出事業を行っています。

対象（社協会員になっている人、団体）

車いす貸出状況

(単位：件)

年度	R 4	R 5	R 6
件数	38	39	32

備品貸出し状況（ボッチャ、綿菓子機、かき氷機、高齢者疑似体験セットなど）

(単位：件)

年度	R 4	R 5	R 6
件数	12	11	19

④ 集いの場創生事業

「地域ふくし力向上計画」に掲載。

元気ですたまき委員などが中心となった「おせつkaiたまき」とは別に、令和6年度より集いの場創生事業として、高齢者や障がい者、子育て当事者、乳幼児等、地域に居住する誰もが地域で孤立しないように気軽に集える場（サロン）への助成を行いました。地域住民の交流・社会参加と仲間づくりを図るとともに、明るく住みよい福祉の町づくりを推進することを目的としています。

サロン名	仮払決定額	実績額
万年青の会	24,000	24,000
いきいきサロン栄町	19,700	19,700
子育てサークル tumugu kitchen	24,000	24,000
富岡おしゃべりサロン	15,400	15,400
勝田町いきいきサロン	7,700	7,700
合計	90,800	90,800

(3) ボランティア活動及び福祉教育の推進（ボランティア活動育成事業）

ボランティアに関する相談・斡旋、ボランティア養成・交流講座を実施し、ボランティアの育成や団体及び個人の自主的活動を支援します。

イ) ボランティアの養成、登録者の拡充と活動支援

① ボランティアセンター活動の充実

・ ボランティアセンター会議の開催

開催日	内容	参加団体数
5月17日	第1回 ①今年度センター事業について ②助成金の交付について ③各団体の計画について ほか	7

3月4日	第2回 ①各団体の活動状況の情報共有 ②今年度センター事業報告について ③来年度助成金の交付申請について ほか	8
------	---	---

・ ボランティア団体への支援（12団体）（単位：人・円）

団体名	会員数	主な事業	助成金
玉城町虹の会	41	一人暮らし高齢者への給食サービスや「夢工房」でのお手伝い。町内施設、イベント時の支援や町内美化運動など	50,000
おもちゃ病院	7	おもちゃの修理を行う。 毎月第2土曜日開院。	25,000
はな♪はな♪おはなし会	14	町保健福祉会館、町内保育所、田丸小学校での定期的な絵本・紙芝居の読み語りほか。	10,000
マジックふらわあ	1	各行事へ参加してのマジックの展示 保育所や福祉施設への訪問 ほか	5,000
絵手紙サークル ゆずりは会	11	月2回定期開催（勉強会・絵手紙作成） 民生児童委員が安否確認時にお持ちする絵手紙を作成	28,000
玉城語り部会	21	・町内観光のボランティアガイド ・歴史的文化財の探索調査 など	0
サポーター「さくら」	79	・認知症サポーターの育成 ・介護施設行事への参加 など	0
青色回転灯パトロールボランティア	6	住民の方の安全安心をより確かなものとするため 町内をパトロール（教育委員会事業）	0
玉城町食生活改善推進協議会	40	栄養、健康づくり講習会・保健事業への協力・栄養改善大会への参加・健康体操	0
健康しあわせ委員会	45	健康づくり普及啓発	0
玉城町民生委員児童委員協議会	33	民生児童委員活動	0
玉城町防災ボランティア	22	防災の啓発 災害支援活動	0
延べ	320	令和5年度 336人	合計 118,000

② ふれあい福祉サービス（ちょっと有償ボランティア）

日常のちょっとした困りごとに登録ボランティアが支援を行っています。利用料はチケットにより清算。買い物やごみ出しなどのニーズが中心となっています。

年度	R 4	R 5	R 6
利用者実人数	3	3	3
利用回数	195	261	167

④ イベントボランティアの募集

イベント型のボランティア活動。登録いただいた方には町内の地域貢献活動等の案内をおこない、活動へのきっかけ作りを行います。

年度	R 4	R 5	R 6
登録人数	22	22	18

ロ) 児童生徒の福祉意識の高揚

① 福祉体験教室の開催

子どもたちの福祉に対する基本知識の習得と、体験や地域住民との交流を通して考える機会とし、思いやりの気持ちを更に育んでいくことを目的に例年開催していますが、小学校での出前講座が増加してきたため福祉教育へ移行しています。

② 福祉協力校の育成及び活動への助成

児童・生徒の社会福祉への理解を深め、地域とのつながりや社会参加の精神を養うとともに、児童・生徒の活動を通して家庭及び地域社会の啓発を図ります。また、協力校（全校）の教員との連絡会は今年度は開催せず、各学校に直接出向き、本事業についての説明（社協会費の充当など）を行い、助成金の交付を行いました。

福祉協力校 活動への助成

(単位：人・円)

学校/児童生徒数	金額	(計画) 主なもの
玉城中学校 466人	95,000	生徒会主催による玉城ボランティア活動（TVS活動）を実施し、環境美化運動を中心に活動を行う 福祉講演会の実施 福祉施設等での体験学習を行い、福祉新聞の作成
外城田小学校 222人	72,000	訪問事業・・・園芸委員会で育てた花の苗を「桜の里」へプレゼントしての交流や、JAや駐在所、児童館に花のプランターをプレゼントする 学校事業招待・・・「楽笑会」に独居高齢者を招待し交流
田丸小学校 368人	86,800	学校行事招待 ・・・ボランティアさんありがとう集会の実施 訪問事業・・・「楽笑会」に独居高齢者を招待し交流 奉仕活動・・・季節に応じた花を育て、環境整備を行う
有田小学校 167人	66,700	有田保育所の子どもたちとの交流 車いす体験などの福祉体験教室 居住地校交流 全校児童による下校時清掃活動
下外城田小学校 97人	59,000	園芸委員会や各学年による栽培活動 特別支援学校との交流 防災ボランティアを招いての防災体験教室
合計	379,500	

③ 児童生徒の福祉参画促進

児童・生徒が地域福祉活動へ参画するためのきっかけづくりを支援しています。夏休みを利用した福祉体験教室は開催できませんでしたが、福祉の作文の募集は行いました。

また、「楽笑会」などの、地域の方々と集まる活動は難しい状況ですが、一定の距離を保ちつつ接点を持った活動の展開、またそこからの住民意識や地域愛の向上を図り、「ふくしの心」の育みに努めていきたいと考えています。

- ・「楽笑会」 2. 地域福祉事業の推進
(2-(1)-⑦)に同じ

- ・福祉教育（出前講座）
小中学校からの依頼を受け、各種体験学習を団体等と連携して実施します。

内容	実施日	学校/生徒数	連携団体
福祉講話 車いす体験	9月26日	下外城田小学校 4年 15名	なし

福祉講話 車いす体験	10月8日	有田小学校 4年 29名	なし
	12月5日	外城田小学校 4年 37名	なし
防災体験	6月25日	田丸小学校 3年 57名 (保護者を含む)	玉城町防災ボランティア
	6月25日	田丸小学校 4年 69名	玉城町防災ボランティア
	7月2日	田丸小学校 5年 66名 (保護者を含む)	玉城町防災ボランティア
	10月10日	外城田小学校 4年 37名	玉城町防災ボランティア
	10月22日	ふれあい教室 10名	玉城町防災ボランティア
	11月6日	下外城田小学校 4年 15名	玉城町防災ボランティア
	11月28日	有田小学校 4年 29名	玉城町防災ボランティア
防災講座	1月31日	玉城中学校 2年 152名	三重大学
避難所 運営ゲーム	7月2日	田丸小学校 5年 66名	玉城町防災ボランティア
	3月7日	有田小学校 6年 27名	玉城町防災ボランティア
手話体験	5月30日	有田小学校 手話クラブ 8名	手話っちカフェ
	9月9日	外城田小学校 4年 37名	手話っちカフェ
	10月9日	下外城田小学校 4年 15名	手話っちカフェ
ボッチャ体験	11月21日	外城田小学校 3年 36名	三重県障がい者スポーツ 支援センター 人権擁護委員

合計 17件 令和5年度 18件

・「地域福祉座談会」

玉城町のまちづくりをテーマに小・中学校と地域住民を対象に行った。玉城わかば学園の教職員および身障者就労センター上々の方の事前授業（テーマ：誰もが安心して元気に暮らせる町を目指して）は代表の学生だけでなく、対象学年すべての学生が受講した。地域福祉座談会は下記の日程で開催予定です。

日時：令和6年11月26日(火)

対象：町内小学校5年生、玉城中学校2年生、玉城わかば学園、地域住民

講師：（小学生）玉城わかば学園 教職員
（中学生）身障者就労センター上々

ハ) ふくし共有活動への参画

①地域福祉座談会

(2-(3)-(ロ)-③)に同じ

②防災ボランティア

住民の災害に対する意識啓発を図ります。

・定例会の開催 12回(毎月第2木曜日)

・その他の活動

福祉協力校での防災体験

(新聞紙でのスリッパづくりや、簡易トイレの設置体験など)

(4) 障がい者の自立と社会参加の促進(障がい児・者福祉活動事業)

障がい者の生活を豊かにするため、障がいのある人もない人も対等な立場で様々な分野の社会活動に参加できるよう、環境づくりに努めています。

・はっぴいサークル

町内に住む特別支援学級または特別支援学校在籍の小・中・高校生とはっぴい卒業者(18歳以上)、障がい者等を対象に地域の人と共に考え、共に過ごす機会と場の提供を行います。(ライブスペース勢の! inたまき開催時に開催)

令和6年度はライブスペース勢の! inたまきが開催されなかったため開催しておりません。

・シッpsハーモニー&はっぴいサークル

以前より活動されているグループ、シッpsハーモニーが玉城町内でサークル活動ができるように交流、場の提供を行います。

R6.5.19開催(参加者15人) R6.9.8開催(参加者13人) R6.12.15(参加者16人)

R7.2.9開催(参加者15人)

・たまリンピック2024

玉城町の事業所等を利用している障がい者、地域の人を対象にスポーツ、レクリエーション等を通して交流の機会、場の提供を行います。

新型コロナウイルスの影響にて中止していましたが令和6年7月20日に開催されました。

(単位:人)

年度	R 4	R 5	R 6
参加人数	中止	中止	36

・手話っちカフェ

手話に関心のある方、障がいのある方が、気軽に集って、手話に触れることで、障がいについての理解を深めます。

(単位:人)

年度	R 4	R 5	R 6
参加人数	56(5回)	115(12回)	99(8回)

3. 相談・援助事業

(1) 福祉相談機能の充実強化

民生委員・行政相談委員・人権擁護委員による相談窓口を「なんでも相談」として開催しています。

10日 民生委員児童委員・人権擁護委員

30日 民生委員児童委員・行政相談員(5月・10月は行政相談員2名)

(単位:件)

年度	R 4	R 5	R 6
相談件数	9	4	22

(内訳:生計3件、年金1件、住宅5件、家族1件、結婚1件、離婚1件、財産5件、老人福祉1件、その他4件)

・窓口総合相談(ボランティア含む)

(単位:件)

年度	R 4	R 5	R 6
相談件数	22	21	20

(内訳:生計0件、家族2件、老人福祉5件、苦情2件、その他11件)

(2) 低所得者世帯の生活安定事業

生活福祉資金及び町世帯更生資金の有効活用を図り、低所得者世帯の生活安定と福祉向上に努めています。

本会は、町単独事業として独自の更生資金の貸し付けを行っていますが、県社協において、低所得者や失業者等の生活再建に向けたセーフティネット、継続的な相談支援、生活費及び一時的な資金の貸付けを行う生活福祉資金貸付が行われているため、こちらを優先して支援相談に応じています。

・貸付相談数 (単位：件)

年度	R 4	R 5	R 6
件数	10	7	7

・令和6年度 貸付状況

①生活福祉資金 (単位：件)

総合支援資金	福祉資金	教育支援資金	不動産担保型生活資金	計
36	38	0	0	74

うち特例措置分 令和6年度 総合35件、福祉30件（償還免除2件）（償還完了10件）

令和5年度 総合39件、福祉35件（償還免除9件）

②町世帯更生資金

更生資金	生活資金	住宅資金	就学資金	災害援助資金	療養資金	計
0	4	0	0	0	0	4

年度内実績（償還済1件 滞納3件）

(3) 福祉サービス利用に関する相談援助事業

日常生活を営むうえで支障がある方に対し、福祉サービスの利用に関する相談・助言や手続き・支払い等の援助を行っています。

① 日常生活自立支援事業

県社協が事業主体となり平成23年度からは県内のすべての市社協が基幹的社協として専門員を、町社協には推進員、支援員を配置し支援しています。平成27年4月から事業の名称が「日常生活自立支援事業」に変更となりました。また、平成31年度から、全市町社協実施方式に移管し、『玉城町日常生活自立支援センター』が設置され専門員、改めて支援員が配置されました。

(単位：人・回)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	14	15	15
延べ支援回数	128	85	118
生活支援員数	1	1	1
専門員数	1	1	2

② 生活困窮者自立支援事業

生活保護に至らないように自立支援対策強化を図るため、福祉事務所設置自治体は生活困窮者の相談に応じ、個々人の状態にあった必要な支援を講じる「自立相談支援事業」の実施が平成27年4月から必須となり、このため三重県は多気町を除く各町に対しても県社会福祉協議会に委託し自立相談支援センターの設置と各町社会福祉協議会との連携により支援しています。生活福祉資金貸付事業との連携により特例貸付希望者へも自立相談支援事業所の紹介をしています。

このほか、同センターは任意事業である「家計相談支援事業」（家計に関する個別のプラン作成、助言）の支援も行っています。

(単位：人・世帯)

年度	R 4	R 5	R 6
自立相談支援事業	6	6	0
家計相談支援事業	0	0	1
就労支援事業	0	0	0

※自立相談支援事業は、令和6年9月から本会に専門職員を配置して実施。4－(7)に新規事業として記載しています。

4. 受託事業の運営

(1) バス事業

① 研修バス

町のバスを使用して町事業はじめ、児童福祉、高齢者福祉、教育委員会の社会教育事業活動に研修バスとして委託運行しています。町内無料。町外23円/kmを利用者負担。

・ 依頼者別状況

依頼者	総務政策	税務住民	保健福祉	上下水道	建設	産業振興
依頼件数	5	1	21	0	0	7

議会	教育	病院老健	社協	各種団体	合計
2	102	0	13	8	159

※各種団体：社協所管5福祉団体及び民生児童委員協議会

・ 年度別依頼状況

(単位：件)

年度	R4	R5	R6
件数	106	45	159

② 福祉バス

高齢者、身体障害者等交通弱者の移動手段の確保と生活支援を目的とする委託運行バスです。

【福祉バス】

平成23年1月からは小俣図書館との1日2便（令和元年8月は4便）の運行。

・ 年度別利用状況

(単位：人)

年度	R4	R5	R6
利用人数	72	53	61

内訳 町内 61人
町外 0人

令和5年4月1日より町外者からのアスピア玉城利用者や小俣図書館への利用者減少のため、また、現下の状況から土日祝日運休。毎週、月曜・木曜日の運行。

【元気バス】

高齢者を中心とする交通弱者の町内移動手段

令和6年度の状況：

登録者数：2,019人

登録者性別

男性： 667人 33.0%

女性：1,352人 67.0%

登録者年代別

65歳未満： 31.8%

65～69歳： 3.0%

70～74歳： 4.4%

75～79歳： 9.6%

80～84歳： 14.4%

85歳以上： 36.8%

利用者数：延べ 18,579人

1日平均延べ利用者数：52人

・ 運行概要

デマンド方式、運賃無料。

10人乗りワゴン車 平日3台（水曜日のみ2台）。土日祝日は1台体制。

9時から17時運行、年末年始のみ運休

・ 令和6年度利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9
人数	1,512	1,633	1,539	1,639	1,385	1,485
月	10	11	12	1	2	3
人数	1,696	1,620	1,520	1,386	1,478	1,686

R6総計
18,579

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	20,660	19,721	18,579

- ・ 予約ツール状況 (単位：%)

年度	R 4	R 5	R 6
外部予約	22.1	26.3	30.7
オペレーター	77.9	73.7	69.3

【すまいるバス】

介護予防事業に係る移動支援バス。

- ・ 令和6年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	
人数	0	0	0	0	0	0	
月	10	11	12	1	2	3	R6総計
人数	0	0	0	0	0	0	0

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	14	0	0

火・水・金曜日に利用の多い介護予防事業への参加者をすまいるバスに一部移行し、元気バスの利用枠を拡大しています。

(2) 各種福祉団体事業の運営

民生委員児童委員協議会をはじめ、福祉5団体（老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、遺族会、母子寡婦福祉会、手をつなぐ親の会）を運営しています。

内容 [(1 - (5))] 参照

(3) ICTふるさと元気事業の運営

元気バスの運行は、平成21年から町内巡回型路線バスから予約制のデマンドバスとなり、今や高齢者や子育て支援の移動手段にとどまらず、安全で安心できる生活者支援に根差した公共交通となりました。

かつて医療費（後期高齢者）削減効果がみられることをクロスセクター効果として、これまで利用料の無償化を継続していますが、新型コロナの影響により様々な生活様式が変わってきたことにより、令和6年度経済産業省の「スマートモビリティチャレンジ推進協議会伴走支援事業」を活用し、国立研究開発法人産業技術総合研究所と連携し、あらためて調査分析しました。結果、これまで同様に利用することで医療費の増大を抑制できることが分かりました。

- ・ 取材視察者への対応など

来所：5月30日 EVバス株式会社 (EV車導入以降に向けた視察内容)

8月6日 奈良県御杖村 職員2名

10月31日 松阪市民生児童委員 15名

12月24日 愛媛県東温市田窪町内会モビリティ検討会 山内啓二氏

2月5日 玉城町 坂本議員

インターンシップ研修：8月7日 東京大学5人

電話：8月5日 沖縄県南城市 企画政策課 平氏

11月28日 伊賀市 内原市議会議員

スマートモビリティチャレンジ推進協議会伴走支援

7月10日 元気バスキックオフ

以降、定例のWeb会議、ワークショップなど

(4) 高齢者等交通安全対策事業

平成29年度より、町からの受託事業として、玉城町区域内における高齢者などの交通の安全に関し、総合的な施策を推進し、交通事故の防止を図ることを目的に、高齢者等の免許返納申請の支援を行っています。

年度	R 4	R 5	R 6
免許返納バス利用者	6人	5人	9人
免許返納手続き支援	0回	0回	0回

※免許返納手続き支援は、認知症など介助応援支援（契約先たまきあい）を指します。

今年度より12月17日JAF(日本自動車連盟)による高齢者安全運転講習を実施。

『死角』など実際の車両を使い実施した。

参加者12名。

(5) 生活支援コーディネーター事業

令和3年度新規事業として受託。安心して地域で暮らすことができるよう地域課題の抽出や発掘に取り組んでいます。今年度は後期に訪問予定です。

・ 元気づくり会への訪問

年度	R 4	R 5	R 6
訪問件数	38回	35回	25回

・ 地域ケア会議への参画

玉城町介護保険推進協議会のワーキンググループとして、個別課題の解決、ネットワーク構築、地域課題の発見、地域づくり・資源開発、地域課題を解決するための政策の形成等の機能を持つ協議体へ参画しています。

・ ぴんの会

独居高齢者支援事業として地域包括支援センターと協働。平成23年2月設置。会食を中心に高齢者同士の集いの場としています。

(令和3年度10月から完全受託業務)

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
開催回数	12	12	12
平均参加人数	19	18	18

(6) 玉城町災害ボランティアセンター事業

玉城町災害ボランティアセンターは、被災時、玉城町災害対策本部と連携して玉城町社会福祉協議会が中心となって開設し、ボランティアをはじめとする関係団体等と協働して運営していくことを活動の主な目的としています。

災害の規模、種別に応じて臨機応変かつ円滑に活動を行うために協力者の人材育成、防災意識の向上を目的とした研修会の開催や防災ボランティアが行うHUG（避難所運営ゲーム）への支援を行う等、平時からも防災の取り組みを行い、玉城町の防災力を高める活動も行っています。

(7) 玉城町生活困窮者自立相談支援業務

令和6年9月から受託した事業で、複合的な課題を抱えた生活困窮者の自立の促進を図るため、一次的な相談支援として、生活困窮者及びその家族や関係者からの相談に応じ、必要な情報及び助言、県等との連絡調整、自立相談支援の利用推奨等の必要な援助を行うことを目的にしています。

・ 相談件数

(単位：件)

年度	R 4	R 5	R 6
相談件数	-	-	20

(8) 個別避難計画受託事業

災害時に避難行動が困難な高齢者や障害者などの避難行動要支援者一人ひとりに合わせて、避難場所、避難経路、避難支援者などを事前に記載した計画を指し、要介護3以上的高齢者を受け持つ居宅支援事業所に対して町から計画が委託されているものです。

(単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
支援件数	-	-	30

5. 募金活動の推進

(1) 日本赤十字社募金と地域福祉活動

日本赤十字社の活動は、地震や台風などの自然災害等が発生した際に、救護班を現地に派遣する「災害救護活動」、血液製剤の安定供給・国内自給の確保を目的とした「血液事業」など、多岐にわたっています。

当町においても、町内住宅火災時等に災害救援物資の配布、災害死亡弔慰金の支給を行っています。また、毎年5月は、全国一斉に赤十字社員増強運動が実施され、運動期間中は、赤十字思想の普及、赤十字社員組織の拡充と社資（寄付金）協力への呼びかけを行っています。（当町は、寄付金協力をお願いしています）

・ 年度別寄付金額

(単位：円)

年度	R 4	R 5	R 6
金額	1,355,400	1,288,600	1,206,200

・ 年度別日赤備品貸し出し件数（テント・発電機等）

(単位：円)

年度	R 4	R 5	R 6
金額	1	1	1

(2) 共同募金と歳末助け合い活動

社会福祉法で位置付けられた「共同募金」は、きめ細かく創意に満ちた福祉活動を行う民間社会福祉事業の財政的支援として大きな期待が寄せられており、広く協力を呼びかけ、毎年10月赤い羽根の募金としてなじみ深いものです。寄せられた募金は、地域のさまざまな福祉活動や福祉施設の充実、ボランティア活動を支えるためなどに役立てています。（「2. 地域福祉事業の推進」各事業に充当されます。）

・ 年度別寄付金額（共同募金）

(単位：円)

年度	R 4	R 5	R 6
金額	1,463,905	1,327,057	1,280,614

・ 年度別寄付金額（歳末助け合い）

(単位：円)

年度	R 4	R 5	R 6
金額	124,875	138,510	145,800

(3) 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト

地域で活動している企業等の皆様に地域のためになる募金百貨店プロジェクトに参加していただくことによって、日常生活と社会貢献をつなぐ「企業～地域住民～共同募金」の新たな関係構築を目指すものです。

協力企業：ふとんのはしもと
有限会社 桜の里

(4) 災害義援への協力及び活動

国内・国外で起きた自然災害に対し、災害義援金の募集・受付を行っています。

- ・ 災害義援金
元気ですたまきまつり会場で行ったチャリティービンゴ売上金と各種団体、企業（7団体・2社）から138,211円をお預かりし、日本赤十字社を通じてお送りしました。（令和6年能登半島地震災害義援金）

6. 在宅福祉事業の運営

(1) 介護保険事業の推進と実績

① 居宅介護支援事業

- ・ 令和6年度利用状況(予防を含む) (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	162	156	153	149	156	148	146	154	153	152	145	145	1,819

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	1,766	1,840	1,819

② 通所介護支援事業

- ・ 令和6年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	835	881	763	694	765	791	852	828	793	738	750	832	9,522
一日平均	32.1	32.6	30.5	25.7	30.4	31.4	31.8	31.6	31.8	31.7	31.8	31.2	31.1

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	8,996	9,545	9,522

③ 訪問介護支援事業

- ・ 令和6年度利用状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	356	355	315	381	389	335	360	320	321	282	282	314	4,010
一日平均	15.7	14.8	13.5	15.1	15.8	14.2	15.1	13.4	13.2	12	13.2	13.4	14.1

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	3,112	3,896	4,010

(2) 障害者支援事業の取り組みと実績

① 生活介護事業 夢工房たまき

- ・ R 6 通所状況 (単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	187	192	180	192	195	173	179	167	148	144	140	152	2,049
一日平均	8.5	8.3	8.6	8.3	8.5	7.9	7.8	7.6	6.7	6.9	7.0	6.9	7.7

- ・ 年度別利用状況 (単位：人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	2,456	2,244	2,049

- ・ 生活支援

排泄、食事、入浴、送迎等の支援等

- ・ 生活訓練及び創作活動

さをり織り・リサイクル活動・さをりマグネット・歩行運動・軽運動・レクリエーション

生活実習

買い物・外食・観賞

地域交流

ボランティアの受け入れ、環境保全会等への参加活動、小学生との交流

(令和6年度は、ボランティアの受け入れのみ実施)

② 相談支援事業 みらい (平成27年2月事業所開所)

・ R 6 相談 (一般・障がい児) 計画支援状況 (単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	12	12	13	13	13	13	12	16	10	23	11	14	162

・ R 6 モニタリング (一般・障がい児) 継続支援状況 (単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	25	27	23	30	24	22	26	21	21	22	30	24	295

・ 年度別支援 (単位: 人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	427	411	457

③ ホームヘルプサービス

・ 令和6年度利用状況 (単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	49	47	47	46	46	48	47	45	47	42	44	49	557

・ 年度別利用状況 (単位: 人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	338	543	557

(3) 移送サービス支援事業

① 福祉有償運送事業

・ 令和6年度利用状況 (単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	14	7	12	6	14	12	17	16	12	6	18	14	148

・ 年度別利用状況 (単位: 人)

年度	R 4	R 5	R 6
利用人数	328	195	148

7. 地域住民からのニーズ事業の実施

(1) シルバー人材センター事業

・ 会員数の状況 (単位: 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
男子	127	128	130	130	130	130	130	130	130	131	131	131
女子	75	76	76	77	77	77	77	78	78	78	79	79
人数	202	204	206	207	207	207	207	208	208	209	210	210

・ 作業件数 (単位: 件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	32	47	67	62	58	64	61	71	70	35	37	39	643

・ 契約金額 (単位: 円)

年度	R 4	R 5	R 6
金額	55,188,566	56,636,465	59,664,958